

このファイルについて

トロントでは、CAJLEとジャパン・ファウンデーション・トロントとの共催で「日本語学習を継続させる」という集まりを2009年より数か月に一度実施しています。

このファイルは、2014年10月と2015年2月に集まった現職教師たちのグループ作業によってまとめられました。限られた時間での作業でしたので不十分な記述の箇所もありますが、現場の教師たちが試行錯誤で行った教材分析の結果をほかの先生方と共有したいと思います。みなさんがこの教材について知りたいと思われた時の一つの参考資料としてお使いください。

本ファイルには客観的な記述に加え、分析を行った先生方がご自分の経験やお考えに基づいて書かれた意見・感想の箇所があります。あくまで、そう思われる方がいる、という目で読んでいただければ幸いです。このような成果物をみなさまと共有するにあたっては、よい意味でみなさまご自身が批判的に個々の教材をご覧になれるように、その材料を提供するという意図もあります。したがって、書かれた内容そのものに焦点を当てていただくために、分析に携わった方々のお名前はあえて記しておりません。ご質問等ございましたら、cajle.pr@gmail.com宛てにお送りください。

「日本語学習を継続させる」CAJLE担当 小室リー郁子（2015年3月）

このファイルの作成に至るまで

- トロント地域で使用されている以下の初級総合教材を分析対象としました。
 - 『げんき 1』 『文化初級日本語』 * 『みんなの日本語 I』 『Japanese for Busy People I』 『Mirai Stage 1』
(* 『文化初級日本語』 は、日本でよく知られた教科書であるにも関わらずトロント地域の学校や教師に知名度が低いことが明らかになったため、あえて今回の分析対象とし、ともに学習することを目的としました。)
- 一種類の教材（教科書）につき、2～3人の教師が担当し分析を行いました。二回の勉強会では、メンバーが入れ替わり、各人が一回目とは異なった教材を担当することになりました。
- 二回の勉強会では、グループごとにこのファイルへの記入を行い、それを用いて全体で発表を行いました。一回目は、教材全体について、二回目は「好きです」を扱っている課について焦点を当てました。このファイルのテンプレートは、この教材分析を企画した担当者が作成しました。
- 具体的に一課分を詳細に見るにあたり、「好きです」が扱われている課を選びました。それは、「好きです」がどの初級教科書においても共通して扱われている項目であり、相互比較が可能であろうと判断したためです。

げんき 1 第二版

An Integrated Course in Elementary Japanese GENKI 1 2nd edition

坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子
初版1999年／最新改訂（第2版）2011年
出版社 The Japan Times
定価¥3,500（2011年現在）

2014年10月25日（土）「日本語学習を継続させる16」および
2015年2月7日（土）「日本語学習を継続させる18」において作成

シリーズ

- げんき I
- げんき II

関連教材

- 併用教材
 - げんき I II ワークブック
 - げんき I II 絵カード
 - 参考資料：げんき 教師用指導書
 - げんき聴解CD I II

オンラインリソース

- <http://genki.japantimes.co.jp> (無料)
 - ひらがな、カタカナ、漢字、文法、会話、単語
 - クイズ、動画、

表記

- 導入

- 平仮名：第一課（全課を通して練習）
- 片仮名：第二課（ただし、使用は第一課から。ひらがなでよみがなを書いている。全課を通して練習）
- 漢字：第三課

- 本文

- 全課かな表記、媒介語 英語
- 第一課～第二課 ローマ字併記
- 全課を通して設問やタイトル等が英訳併記

対象と目標

- 対象：初めて日本語を学ぶ人。高校生以上。
- ゴール：日本語の四技能を伸ばし、総合的な日本語能力を高めること。「正確さ」「流暢さ」「複雑さ」をバランスよく高めること。

特徴

- 「会話・文法編」「読み書き編」「巻末」から構成されている：
- 「会話・文法編」では、基本的な文法を学び、語彙を増やししながら「話すこと」「聞くこと」を学習する。
- 「読み書き編」では、日本語の文字を学び、文章を読んだり書いたりすることによって、読解力と書く力を伸ばす。

全体の構成

- 全 382 (25ページ/課)
- 全12 課

- 文法解説：英語での解説
- イラスト：あり
- 写真：Culture Noteにある
- 地図・データ等：Culture Noteにある
- 音声：本会話・単語・練習

- 索引：索引 1 日本語から英語 索引 2 英語から日本語

各課の構成

会話例（音声あり） 語彙導入 文法説明 練習
表現ノート Culture Note Useful expression
漢字練習

グループでの気づき & 感想 【全体】 1/3

- イラストがたくさん使われている
　　<< 説明する必要がない。
- 会話が日常生活に焦点を合わせている
　　<< 日本で生活する人にはいいが、ビジネスのために日本に行く人にはものたりない。
- 一課ごとに出てくる単語が多すぎる
　　<< 覚えきれない。

グループでの気づき & 感想 【全体】 2/3

- MP3が付属
 - ◀◀ CDプレイヤーでは使えない。
- 会話文法編と読み書き編のバランスが悪い
 - ◀◀ お互いの編がサポートしてない。
- 漢字が導入が早すぎる
 - ◀◀ まだひらがなとカタカナが未完成なのに漢字を導入すると混乱を起こす。

グループでの気づき & 感想 【全体】 3/3

- 教科書の値段が高い！

<< 教科書本体は約\$55、ワークブックなども買うと\$100を超える。

「好きです」の課：第5課 第8課

- 5課 XはYが 好きです。
- 8課 Vのが好きです。
- トピックや場面（文脈）
 - 5課 トピック：好きなもの 場面：沖縄旅行
 - 8課 トピック：～するのが好きか 場面：BBQ

「好きです」の課：第5課 第8課

- 練習のパターンとタスク

- 第5課 語彙：好き・嫌い・大好き・大嫌い
- 第8課 語彙：好き・嫌い 大好き 大嫌い
- 両課 語彙：好きでも嫌いでもありません

- 文法と四技能

- 第5課 Nが好きです（嫌いです・大好きです・大嫌いです）
- どんなNが好きですか
4技能 聴く・話す 読む（文章・単語）書く（文章・単語）

「好きです」の課：第5課 第8課

- 文法と四技能
- 第8課 Vのが好きです・嫌いです（大好き・大嫌い）
- 好きじゃないです・好きじゃないですも導入する
- 四技能 聴く 話す 読む（文章・単語）書く（文章・単語）

グループでの気づき & 感想 【第5課/第8課】

- 英語では「好きです」は動詞の「like」で、日本語はナ形容詞として扱われる。
- 第5課では、「好きなN」「嫌いなN」で、ナ形容詞としてほかの形容詞と導入され、第8課では「Vのが好きです」という使い方を導入している。
- 絵カードで場面導入・語彙導入できるので使い易い